

## 令和7年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>新学習指導要領を着実に実施することで、主体的に学習に取り組む態度を育成し、探究力を育む。</li> <li>指導と評価の一体化の視点を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの実現を追求する。</li> <li>ICT や AI 等、新たな技術を取り入れ、新時代に対応できる DX 人材を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新学習指導要領を適切に運用し、生徒一人ひとりの主体的な学習への態度と探究力を育む。</li> <li>②指導と評価の一体化を目指し組織的な授業改善に取り組む。</li> <li>③新たに導入された ICT 機器を用い、生徒個々に応じた効果的な利用を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①発問・課題に対して協働して取り組み思考する授業、学びを主体的に深めるための授業への転換を図る。</li> <li>②研究授業の振り返りの際に各教科で形成的評価の実施状況について調査し実施率 100%を目指す。</li> <li>③授業等において効果的な ICT の利活用を追求し、利用率 100%を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①発問・課題に協働して取り組み思考する授業、学びを主体的に深めるための授業を実施することができたか。</li> <li>②組織的な授業改善の取り組みとして、形成的評価の実施 100%を達成できたか。</li> <li>③授業等において効果的な ICT の利用を実践し、1 人 1 台端末を活用した授業実践 100%を達成できたか。</li> </ul>					
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>予防的な生活指導を実践しピア・サポートを浸透させる。</li> <li>生徒一人ひとりの高い規範意識とコミュニケーション能力を育成する。</li> <li>学校行事や部活動等を通じて、生徒の主体性・リーダーシップを育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①全職員の共通認識のもと、基本的生活習慣の確立と交通安全などの規範意識の向上を図る。</li> <li>②子どもたちが抱えている課題を早期に発見し、課題解決に向けて適切な支援を行う。</li> <li>③学校行事や部活動、委員会活動において、生徒が主体となり行い、生徒のリーダーシップのもとマネジメントされた活動を推進していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上に向け、生徒一人ひとりの状況を把握した上で交通安全指導に日々取り組む。</li> <li>②サポートドックや各種アンケート、面談等を通じ生徒一人ひとりの実態把握に努め、必要に応じ SC や SSW と連携した支援を行う。</li> <li>③学校行事や部活動、委員会活動に、生徒が積極的に参画し、自らマネジメントできるように支援し、実践的な態度と主体性を伸長させる。</li> <li>④部活動への加入率 90%を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校全体で共通認識のもと、基本的生活習慣の確立と交通安全指導を実施できたか。</li> <li>②生徒の状況に合わせ、迅速かつ適切な対応ができ、外部機関とも連携できたか。</li> <li>③学校行事や部活動、委員会活動において、生徒自らがマネジメントした活動ができる場面を作ることができたか。</li> <li>④90%以上の部活動加入率を確保できたか。</li> </ul>					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェルビーイングの視点から、確かな目標を設定し、粘り強く進路実現を図る力を育成する。</li> <li>・3年間の体系的なキャリア教育計画を作成し、進路指導・支援の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ウェルビーイングの視点を基に、主体的に進路活動に取り組めるようキャリア諸能力の育成を図る。</li> <li>②生徒一人ひとりが将来への展望を持ち、希望する進路を実現できるよう系統的な進路指導・支援を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各種進路ガイダンスや体験活動で蓄積したポートフォリオ等を通して、生徒が自己理解を深め、成長を感じできるよう支援する。</li> <li>②進路ガイダンス、職業講演会、インターンシップ等を活用し、上級学校や職業選択の際に参考となる情報や機会を提供する。また、インターンシップへの積極的な参加を呼びかけ、参加者を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①主体的に進路活動やポートフォリオの作成に取り組むこと等により、自己肯定感や成長を実感することができたか。</li> <li>②生徒が希望する進路の実現に向けて各学年と綿密に連携し、模擬試験等のデータを活用しながら、適切な支援をすることができたか。インターンシップへの参加者が増加したか。</li> </ul>					
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シチズンシップ教育、主権者教育の充実を図る。</li> <li>・地域の様々な施設や産業との協働を通して、社会に貢献できる人材を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①関係機関と連携し、身近な教育資源の活用を推進する。</li> <li>②地域と連携し、生徒が自ら課題を見つけ主体的に社会に関わることでできる活動の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域貢献活動等を通して、関係機関との連携を図る。校内においても地歴・公民科等と連携し模擬投票などの主権者教育に努める。</li> <li>②地域と連携し生徒が主体的に社会に関わることでできる活動を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校運営協議会等での協議を活かし、身近な教育資源を有効活用ができたか。シチズンシップ、主権者教育を実施できたか。</li> <li>②地域と連携し、生徒が主体的に社会に関わることでできる活動を実施できたか。</li> </ul>					
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な教育活動についての情報発信を積極的に行い、本校の魅力の発信に努める。</li> <li>・事故・不祥事を根絶し、信頼される学校づくりに努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校説明会やホームページの内容の充実を図り、本校についての情報発信を積極的に行う。</li> <li>②教員の働き方改革の推進を実行する。</li> <li>③成績処理や要録・調査書作成における事故や不祥事の防止を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校説明会や行事について、定期的なホームページの更新等を通して情報発信を行う。</li> <li>②時間外超過勤務月45時間以上の教員を減らす。</li> <li>③成績処理や要録・調査書の作成マニュアルを作成し適切な処理・作成法について周知すると共に、成績処理支援システムの円滑な利用を図る。不祥事防止研修会を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①情報発信の場の工夫と適切な時期にホームページの更新等を行うことができたか。</li> <li>②時間外超過勤務月45時間以上の教員は減少したか。</li> <li>③成績処理や要録・調査書作成における事故や不祥事を無くすことができたか。</li> </ul>					